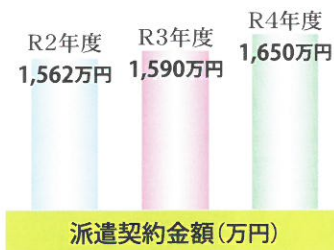
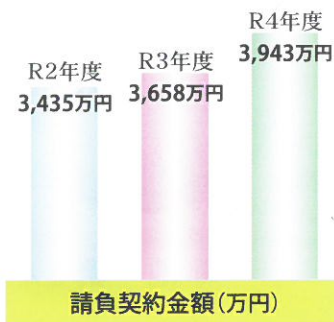
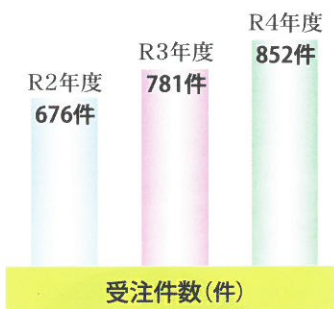


生きがい

URL(ホームページアドレス): <https://mikawa.yamagataren.org/>

11月末実績 3ヶ年比較



コロナ禍でも

受注件数・契約金額ともに増加

令和4年度事業実績(11月末)

令和4年度11月末の事業実績は、上記グラフの通りです。11月になって新型コロナウイルス第8波とも見られる感染が広がり、業務を休まざるを得なかったり、交代要員の対応に追われたりしましたが、令和4年度4月のスタート以来、受注件数は

(4ページへつづく)



我が国は、少子高齢化が進行して人口減少過程に入り、人生100年を迎える今、生涯現役で活躍出来る社会が求

新年明けましておめでとうございます。会員皆様並びに各関係者皆様におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

められています。シルバー人材センターは、高齢者の「社会参加を促進し、生き甲斐の充実、健康の維持促進」、ひいては「地域社会の活性化」に貢献します。そして、年金や医療など社会保障制度の持続性を確保する上からも、高齢者がシルバー人材センターで元気に活躍する意義は大きく、働くことの尊さを身をもって実践することは大きな喜びであります。当センターは平成から令和の時代

の流れの中で、一步一步あゆみを進めてまいりました。新型コロナウイルスの影響などにより、受注確保が不安な状況の中ではありますが、私達は様々なチャンスチャレンジと捉えて、地元を根を下した自主的な団体として、会員の方々が安心して就業できる環境作りに精進してまいりたいと思います。是非、多くの皆様のご入会を会員一同お待ちしております。

理事長 須藤 栄 弘





新年明けましておめでとうございます
 どうぞよろしくお願いします

これからも
 シルバーが
 輝やくために

ぜひ! 私たちの仲間になってください!



▲春の農作業から草刈・剪定、雪囲いの設置と撤去、冬の除雪作業まで、ほぼ年間を通して出動します。最近、町外からの業務が急増しており、人員はいつでも誰でも歓迎です!「来たれ! 屈強男子。私達といっしょに充実人生を!」

▲ 榎元青果さんの業務をほぼ年間を通して請け負っています。特に、庄内柿の収穫が始まる10月からお正月準備の12月まで、女性陣は毎日、総動員でフル回転。「仕事はきっちり! 仲良く楽しく! いつでも来てね。待ってます!」

一般社団法人三川町シルバー人材センターは平成8年11月に設立されました。以来26年間、お客様との信頼を第一に、会員一人ひとりの生きがいの充実を図り、地域社会発展の一役を果たしてきたものと考えています。

しかし、昨今の人手不足はシルバー人材センターにも及び、業務のご依頼は数多くあるものの、それに応える人員が如何せん足りません。

そこで、これからもシルバー人材センターの会員が輝き続けられるよう、新年号を借りてズバリ、「新しい仲間の勧誘」を行ってみることにしました。現在の会員126名を代表して、4名の会員から
 ①シルバーは、こんなに楽しい! 素晴らしい!
 ②2022年、一番うれしかったこと。
 ③2023年のこんな夢、あんな夢、新しく会員になる皆さんへのメッセージ、を語ってもらいました。この紙面をご覧になった方が、一人でも多くご入会くだされば成功です。「ぜひ、私たちの仲間になってください!」

- ①シルバーは… 家を守り、家族を守るために一生懸命働き、役目を果たした余韻に浸っていませんか? 人間は頭を使い、身体を動かすことで健康寿命を伸ばすことができます。健康寿命を維持することも、自分の持っている特技を活かすことも、シルバーでは可能です!
- ②2022年… 仕事の依頼を受けて作業を終えた後や、後日、依頼者とお会いした時に喜んでいただき、「親戚や友達が、シルバーの仕事に関心を持ったようだ」と、言われた時は仕事冥利に尽きます。
- ③2023年の… いろいろな職種がありますが、自分が携わっている草刈、樹木の伐採・剪定、雪囲い、除雪作業など、仲間20名を切る状況では、住民のご要望に応えられなくなります。高齢化が進む中、仲間と行動を共にし、住民の中に溶け込み貢献する。こんな生きがいもありますので、是非、仲間に加わって下さい!

平成14年4月に入会してシルバー21年目。副理事長として、業務の受注、現場の確認、業務の段取り・人員配置、安全の確認・徹底など…、シルバーを支え、けん引する役割を日々果たしています。



猪子 菊池 繁さん

寺の境内、庭木の手入れの季節になると、10人位のプロ集団(三川町シルバーさん)がやってきます。にこやかな挨拶から始まり、隊長の菊池さんのかけ声で一斉に作業が始まる。手際良く働いている姿が、見ていて気持ちがいい。10年前に廣濟寺門徒(檀家)の菊池さんがシルバーに勤めていると



鶴岡市本町 廣濟寺住職 御橋博喜さん
 「安心して任せています!」

お客様からの声

聞いたのがきっかけで、それ以降お願いしています。毎回、事前にお見せして、いつ、どのように、どうするかを丁寧に説明してもらい、安心して任せられる方なので、複数のお寺や門徒(檀家)にも紹介して、大変喜ばれています。自信を持って薦めたいような仕事をしてくれそうです。これからもよろしく願います。

- ①シルバーは… 母の介護もあり、外で働くのは無理とあきらめていました。今は週1回、子ども達と会えるのがとても楽しみです。家族との会話も増え、生活にも張り合いが生まれました。母もできる事は自分でと、頑張ってくれています。
- ②2022年… 8月に2人目の孫が生まれたことと、孫と一緒に「アンパンマンミュージアム」に遊びに行けたことです。「ばあばあそば」と言ってくれるのが嬉しくて、買い物に行くとアンパンマンの玩具や洋服についつい目が行きます。
- ③2023年の… 先ずは、将棋を覚えて子ども達と勝負できるようになりたいです。無理せず働けるその人に合った仕事を紹介してくれます。挑戦してみませんか。



土口 田村 せきさん

令和4年6月に入会してシルバー1年目。週1回、アソビパキッズみかわ(学童保育)の業務に携わっています。

- ①シルバーは… 町民体育館の管理を任せられ、気が付けば早や5年。子ども達の元気な挨拶と笑顔を見ては生き甲斐を感じ、みんなに管理人として親しまれるよう努力するとともに、「もういいよ!」と言われるまで、「明るく・楽しく・元氣よく」頑張っています!
- ②2022年… コロナが幾分緩和され、久々に子ども・孫と一緒に東京見物を楽しみ、以前、仕事をしていた同僚達と酒を酌み交わし、幸せを感じた一週間でした。仕事を気持ち良く代わってくれた仕事仲間感謝です。
- ③2023年の… 健康に留意しながら、酒田・寒河江マラソンに挑戦しようかな! シルバーで働かせていただいているおかげで、妻から小言を言われることなく、趣味を楽しんでいます。皆さんも是非どうぞ。



横内 黒沼 弘さん

平成30年5月に入会してシルバー5年目。町民体育館管理員業務に週3~4回携わっています。

- ①シルバーは… 今までは何げなく毎日を過ごした日々が、毎日の仕事で何か1つでも得るものに改めて喜びを感じさせられており、また第2の人生の楽しさを見つけさせてくれる所でもあり、まだまだ働ける素晴らしい場所です。
- ②2022年… 私が自分の仕事でやりがいを感じる時は、色々と成果を残し、少しでも会社に貢献したいと思いつつ毎日がんばることで。また社員の方に、「今日も綺麗だね」と、声をかけられた時は、本当にうれしく思います。
- ③2023年の… 未来への夢は誰にでもあるものですが、私はいっしょに働ける仲間を作りたい。人はそれぞれ何か出来る特技を持ち合わせているはず。その力を活かしてみませんか。



猪子 佐藤 美恵子さん

令和3年2月に入会してシルバー3年目。月~金曜日まで一日3時間、榎ヨロズエンジニアリングさんの清掃業務に携わっています。(現在は、身体メンテナンスのためお休み中)

一つひとつの「ご注文」に、ていねいに応えて…

(1ページよりつづく)
 順調に積み上がり、11月末で852件(前年度同期より71件の増)となりました。特に個人のお客様からのご依頼が増え、町内に止まらず、鶴岡市や酒田市、庄内町のお客様など、ご依

頼の一つひとつに、ていねいに応えた結果が、事業実績の伸びにつながりました。
 請負業務の契約金額は3千943万円(前年度同期より285万の増)、派遣業務の契約金額は1千650万円(同60万

円の増)、請負と派遣を合わせた契約金額は5千593万円(同345万円の増)となりました。
 新型コロナウイルスの影響を受けているとはいえ、請負、派遣業務ともにお客様のご依頼は数多くあり、

人員を確保してお客様のご注文に添えていくことが喫緊の課題になっていきます。
 昨年10月、山形県最低賃金が改定されたことに伴い、10月の理事会において、配分金単価の改定を行いました。派遣の賃金についても、派遣先のご理解を頂いています。

10/25(火)

みかわ保育園、
 菜の花とチューリップ
 春の玄関が楽しみ



▲毎年恒例、みかわ保育園4歳組の子ども達がチューリップの球根を植えて、菜の花の種を撒きました。今年はプランターにも菜の花の種を撒き、春4月、新しく入園する子ども達を、色とりどりの菜の花とチューリップが迎えます。

11/5(土)

天候にも恵まれ、
 11月と12月は雪囲い作業



▲町内外から多くのご注文を受け、今年は11月の前半、比較的暖かったせい、庭木の伐採、剪定作業もあり、期間内で終わられるか心配しましたが、作業員全員がチームワークよく、また天候にも恵まれ、ちょうど雪が降る直前、12月13日(火)に終わることができました。

コロナ禍でも 業務急増!

乗っ切りの秘訣は チームワーク



▲雪囲い作業が終わると、今度は除雪作業。社会福祉協議会の委託を受けて、一人暮らし世帯などの除雪作業を請け負っています。除雪車の点検を行い、作業の安全を確認し、「いざ出陣」の体制を整えました。

12/9(金)

見守り援助活動(除雪作業) 結団式
 除雪隊いざ出陣!

12/20(木)

元青果さん花の作業
 お正月の準備大忙し!



▲庄内柿の季節10月から、(株)元青果さんの果物パック作業は、12月いっぱいまで続きます。12月22日(木)からはお正月用花の作業も加わり、地域の皆さんが良いお正月を迎えられるよう、作業員全員ががんばりました。

令和4年度「安全就業に関する標語」入選作品

優秀賞

「急ぐほど気づかず増える危険の芽」
 山形市SC会員 吉永 二郎さん

「安全は人に頼らず任せず」
 米沢市SC会員 玉虫千代子さん

佳作

「事故ゼロは働く皆の道しるべ」
 山形市SC会員 斎藤 知行さん

「事故なしで帰るあなたを家族待つ」
 新庄・最上地域SC会員 栗田 正一さん

「作業前安全チェックでいい仕事」
 新庄・最上地域SC会員 黒沼 孝一さん

「気のゆるみあせりと無理は事故の元」
 天童市SC会員 神保 正行さん

「確認は自分の目と手でしっかりと」
 大石田町SC会員 高橋 悦子さん

職員優秀賞

「就業は安全・無事故の二刀流」
 東根市SC職員 黒沼光一郎さん

最優秀賞

「見逃すな毎日変わる危険箇所」
 令和4年度「安全就業に関する標語」の入選作品が決まりました。県内25センターから658編の作品が寄せられました。10月12日(水)山形ビッグウェイングにて開催された安全就業推進大会において、栄えある表彰を受けた作品は次の通りです。

東根市SC会員 笹川 充義さん

令和4年度 8 ~ 12月 活動スナップ

税負担増、労力も増

困った「インボイス制度」

本年10月から

国民の皆さんが内容をどの位ご存知かわからない、「インボイス制度」が令和

5年10月から導入されます。現在、年間課税売上高1千万円以下の小規模事業者は消費税納税が免除されています。取引相手が課税事業者か免税事業者かに関わらず、全ての取引において「仕入税額控除」が認められています。インボイス制度が始まる令和5年10月からは、インボイス(適格請求書等)を介した取引しか「仕入税額控除」が認められないこととなります。

シルバー人材センターは会員の皆さんが就業すると配分金をお支払いしますが、これには消費税が含まれています。会員の皆さんがインボイス発行事業者になら

ない限り、インボイスを発行することはできません。センターは会員の皆さんからのインボイスがありませんので、「仕入税額控除」を受けることができません。

全国にはシルバー人材センターが約1千300センターあり、インボイス制度により増える税負担は約200億円とも言われ、1センターあたり平均1千500万円にもなります。

料金の値上げを検討

第1期激変経過措置として、令和5年10月から3ヶ年は仕入税額控除が80%まで認められるようですが、全シ協及び県シルバー連合会は、新

たな税負担への対応策として、お客様からの料金を2%値上げすることを打ち出しています。

具体的に県内の各センターは、事務費現行10%から2%程度値上げすることを考えています。当センターでも、これらの情勢を12月の理事会に報告しています。税負担が増し、労力も多くなる「インボイス制度」ですが、これからの逐一情報をつないでいきます。

第3回 障子・ふすま張り講習会 ふるってご参加を!

★令和5年1月29日(日) 午前9時～午後3時
★三川町公民館 玄関ロビー



▶ 第2回講習会の様子です
令和4年1月30日(日)

編集後記

▽サッカーW杯カタール大会は、アルゼンチンの36年ぶり3回目の優勝で幕を閉じました。「何としてもW杯を我が手に」世界最高峰の2チームがあらゆる力と技をぶつけ合い、延長・PK戦まで執念の戦いを続け、見事、W杯を手中にしたのは、35歳、リオネル・メッシ率いるアルゼンチンでした。▽戦前、フランスのデシャン監督は優勝のポイントを3点「クオリティ、経験、チームスピリッツ」としていました。本当にどれを取っても僅かの差が勝者、敗者を分けたに違いありません。▽3位は、決勝トーナメントの1回戦、PK戦の末に日本を下したクロアチア。前回同様、今回も2度の延長・PK戦を制し、世界3位の勲章を手に入れました。準決勝で涙を飲んでも、37歳のリーダー、ルカ・モドリッチは最後まであきらめず、攻守にわたって献身しました。▽我が森保ジャパンも予選リーグで優勝経験のあるドイツ、スペインを破り、国民に歓喜と希望をもたらしました。森保監督の「ドーハの悲劇からドーハの歓喜を味わうことになりました」が、すべてを物語っていました。「93年の悲劇」から「22年の歓喜」まで、実に29年を要したことになります。ベスト8、ベスト4に進むには、あと何年を要するのか。夢と希望を持って待ちたいと思います。
(事務局・K)